

## 文教厚生委員会会議録

- 1 期 日 令和3年5月17日（月）
- 2 会 場 第1委員会室
- 3 開会時刻 午後1時54分
- 4 閉会時刻 午後2時24分
- 5 出席者 委員長 嶺岡慎悟 副委員長 窪野愛子  
委員 二村禮一 委員 勝川志保子  
委員 橋本勝弘 委員 高橋篤仁  
委員 山田浩司

（当局側） 教育長、教育部長、健康福祉部長、こども希望部長、  
健康福祉部参与兼健康医療課長

（事務局） 議事調査係 竹原

- 6 協議事項 閉会中の継続審査申し出事項
- 7 会議の概要 別紙資料のとおり

以上のとおり、報告いたします。

令和3年5月17日

掛川市議会議長 松本 均 様

文教厚生委員会委員長 嶺岡 慎 悟

## 7-1 会議の概要

令和3年5月17日（月）午後1時54分から、第1委員会室において全委員出席のもと開催。

1) 委員長あいさつ

2) 副委員長あいさつ

3) 当局（教育長）あいさつ

4) 協議事項

閉会中継続調査申し出事項 4項目で了承

5) その他

①常任委員会協議会の日程確認 5月25日（火）

②現地視察の日程確認 5月27日（木）

③新型コロナウイルスワクチンについて

○嶺岡慎悟委員長 新型コロナウイルスワクチンについて、皆さんいろいろご意見ももらっていると思います。総務委員会が終わるまでの短い時間ではありますが、コロナの担当の部長も来られていますので、お話を聞いていただきながらできればと思います。現状、いろいろなご意見をもらっています。それぞれの委員が話をもらっているかと思います。まずは現状として課題等もし話ができることが、先に話せることがあれば。

○勝川志保子委員 その件について、5月21日の全員協議会で報告がある予定かどうか、内容はこういったものか聞きたいです。

●大竹紗代子健康福祉部長 5月21日の全員協議会の中で、現在の状況を報告させていただきます。一つが医療従事者の接種状況、二つ目が高齢者ワクチンの接種予約状況について、今予約がなかなかたくさん受けられないので枠を何とか広げなければいけないということで、三つ目としてワクチン接種推進取り組み検討状況についてご報告させていただくのと、もう一つが先週、新聞に掲載されましたが予約システムの入力誤りということで、ご迷惑をおかけした方がいらっしゃいます。その対応状況と今後の対策ということで報告をさせていただきます。

○勝川志保子委員 文教厚生委員会関係のところでも市長のほうから記者会見や区長会などのところでも話があった抗原検査を使っていくという踏み込んだ発言が広報されていると思いますが、その辺について説明はないですか。

●大竹紗代子健康福祉部長 5月21日はワクチン接種のことだけお話をさせていただきたいと思っていましたので、ご質問をいただければ回答いたします。

○勝川志保子委員 特に準備物はないということですか。

●大竹紗代子健康福祉部長 ワクチン接種のみ報告させていただこうと思っていました。

○勝川志保子委員 全議員がいる場所で、あの記者会見だけ聞いているだけだとどういう風に踏み込もうとしているのかがはっきりわからなかったです。今、拡大が速いペースで進んでしまっているのので、できるだけどうやっていくというところに少し踏み込んだ形でお話いただけると安心感が違ってくると思うので、全員協議会で資料の差し込みができないか検討できないですか。

●大竹紗代子健康福祉部長 今日、資料が出来上がっておりまして、議長と副議長にこれからご説明をさせていただくようになっているのですが、前回、ご説明させていただいていますが、今の使用状況と感染者がどれくらい出たのかということをお伝えさせていただいているので、補足で資料に付けさせていただいて、報告をします。

○勝川志保子委員 あともう一点、いわゆる生理の貧困、女性の生理用品の配布の問題のと

ころも議員への配布があったわけですが、もう少し詳細を、ふくしあにどうなっているか聞きに行ったらまだ文書が届いていないという話で、もう1週間しかないので始まる前段階できちんとした告知が議員からもできるようにもう少し丁寧な説明がほしいですけれども、文教厚生委員会でいいのかな。そのところは。

●大竹紗代子健康福祉部長 この場でよろしいでしょうか。

○勝川志保子委員 できれば全員協議会でお話していただければ議員全員に口頭でなく資料があればわかりやすいですよ。こういう形でこういうものがというあれも含めて出てくると話がしやすいので。それもお願いできたらと思います。

●大竹紗代子健康福祉部長 前回、皆様に棚配布をさせていただいた資料を膨らめたようなもので資料を作成して説明をしながらお渡しするというところでよろしいでしょうか。

○勝川志保子委員 はい。

○窪野愛子副委員長 昨日、私の地区で区長会がありまして、テレビや新聞等で首長が年齢に達していないのに残っていたワクチンだから打ったとかという情報があって、市民からは批判があるということですが、昨日の区長会ではぜひ久保田市長がまだでしたら打っていただくように、しっかりと公表すれば市民は当然必要じゃないかって、それがこそそこそか後で言い訳みたいなのがついてきてるから、やっぱりコロナになっては困ってしまいますので、ということでそういう話があったものですから、頭の片隅に置いていただければと思います。

○嶺岡慎悟委員長 前聞いた話では余ったらくまく職員もという話もありましたよね。そこは教育長だったり、危機管理に特に重要な方は認識いただいて、しっかりと公表があれば、私の周りもそういった意見多くあります。反対の方もいらっしゃるのには確かなので、そこは非常に難しいと思いますけれども。

ワクチンの件で、今後の対応はまた21日にお話があるということではありますが、実際、今回いろいろな課題が出たと思います。その中で6月18日を迎えるにあたって、どういう風に、21日に説明があるということですが、いろいろな対策を考えているということで、委員会としてもうちちょっと何か皆さんの意見を挙げて、なかなか提言というわけにはいかないのはわかっていますし、当局のやり方を僕たちもしっかりと聞いて、本当にそれでいいのかというのを確認してからやってもらいたいという、本当にお忙しいところなので無理を言うのもあれなんですけど、ただ前回の本当に大きな問題があったと思いますし、今、袋井市とかのやり方もすごい丁寧にやってる、1歳ごと年齢順に75歳からやって、ネットができないとか、60歳後半でさえやれるけど電話するという、それに対するフォローが何もなかったということが一番大きかったと思います。そのあたりの対応とか、21日もあるかもしれないですけど、今何かお話しただけのことがあれば。

●大竹紗代子健康福祉部長 まず枠がとても少ないということが一番大きな問題だと思っていますので、接種枠を広げるということで今、一生懸命、担当部局で動いています。それから、今おっしゃった予約の件ですが、電話はなかなかつながりませんが、スマホやタブレットやパソコンであれば割と早くつながったということで、最初は高齢者なので自分じゃなかなか難しいという方はご家族にやってもらったりしたそうです。そこをフォローできるような体制を整えるために準備をしています。なので、6月18日にはそこがしっかりとできているようにということで、まず本庁と大東・大須賀支所に相談窓口兼予約のサポートができる体制を整えようと準備をしているところです。またそこに殺到してしまうという心配もあるので、そこら辺の対応も考えなければならぬのですが。あとは周知について、なかなか枠を広げるといっても限界はあると思いますので、ワクチンは順次入ってきますから必ず打てますよという周知と、予約の相談ができますよということの周知をしっかりとやっていきたいと思っています。ホームページやデジタル的なところだとなかなか難しい方もいらっしゃるの、例えばスーパーやコンビニなどにポスターみたいなものを貼らせていただいて、周知を図っていききたいと思っています。あと民生委員、区長には説明をさせていただいているので、地域の方への呼びかけというのはご協力いただけるかなと思っています。

○嶺岡慎悟委員長 先ほど、民生委員とか、区長会でもけっこうその話が、区長たちがフォローしなきゃいけないねとかそういったことも話をしていきますので、ぜひそういったところにうまく、やってあげるよという声もたくさん入っていると思いますし、僕たちももらっていますので、そこも連携をしっかりとやっていただければと思います。

○山田浩司委員 今、枠を広げるということをおっしゃっていたのですが、ということは逆に言えば、65歳以上の方が全員打てる状況にはないということでしょうか。6月18日に予約をした場合、予約できない方が必ずできるという状況なんですか。

●大竹紗代子健康福祉部長 やはり枠をどんなに広げても限界はあるかと思っていますので、第

2期に漏れてしまった方は第3期に回っていただくということになります。一遍に3万人の方ができればいいのですが、なかなかそれは難しいと思いますので、あとはかかりつけの先生にご相談いただいて個別接種を受けていただくということで。

○高橋篤仁委員 逆に枠を広げるからこそ満杯状態でみんな殺到してしまうと思うんですよ。65歳未満の方が、これからの作りとして例えば5年5歳ずつ時期をずらすであるとか、そういった予約をできる人数を逆に絞ったほうが、予約の殺到を避けられるのではないかとも思いますので、これからの考え方としてよろしくをお願いします。

○勝川志保子委員 今のところに付け加えて、75歳以上やりましたよね。そのあと65歳に広げるところまで、接種券届いてから1日しかなかったんで、本当、予約の開始の翌日に65歳のところまでの接種券が届いてしまった、ここがまずかったのだろうと思うんですよ。75歳以上の予約状況と75歳と65歳の間のところの予約状況の資料というのがありますか。75歳のどれくらいが取り残されたまま、65歳の枠に入ってしまったのか。75歳以上のところの部分に特別枠を、1日のところで乗り遅れてしまった方々を優先できるような枠組みづくりだとか、そういったデータに基づいて、なんかうまくいかなかったのかなというあたりとか。焼津市なんかはかなり細かく区切って予約を受付したりしているんで、その辺の検証の上、データに基づいて、予約をしたいのにできないというそこが混乱を起こしているんで、ワクチン接種の量が10人に1人くらいしかない状態で、10倍の人が予約しようとするればそれはパニックになるのは当然なんだけど、そこを18日の前に見直しを思っているんですけど。

●道田佳浩健康福祉部参与兼健康医療課長 勝川議員がおっしゃられたことは、今課内でも検討してまして、今回5月7日に予約開始と65歳以上のクーポン券送付というところは、本当はずらそうと思っていましたが、郵便局で、翌週が固定資産税の納付書の配送日なのでやめてくれと言われて、それをずらすと、また1週間先にいってしまうという状況があったことから、苦肉の策でいろいろ悩んだ末に7日に配送するしかなかったという実情があったということでご理解いただきたいと思います。枠を広げるということは、申込者の枠は年齢を区切って狭める必要があるのですが、今、集団接種の会場が1時間当たり、1人の人が20人接種する枠で、その枠を1回やってみて、これでもう少しいけるとなれば、1時間の枠を広げたり、集団接種会場のB&G体育館は常設してあるにもかかわらず、今、土日しか、開業医も当然自分たちの仕事もあるのでできていないというところがありますので、そこを中東遠総合医療センターや歯科医師の力を借りながら、平日に接種できるように、接種できる枠を広げながらということも検討しておりますので、ご理解をいただければと思います。

○二村禮一委員 かかりつけ医によって診察券があればやってくれるというところもあるし、私は1年に1回ワクチン接種で、全然対象外ということであきらめていたんですが、あっちの医者はやってくれて、こっちの医者はだめ、一生懸命ルールを守っている人ができなくて、ルール破りができちゃう状態が続いています。そのあたりはどうやっているのですか。

●道田佳浩健康福祉部参与兼健康医療課長 そのあたりは医師会と十分いろいろな調整をしたのですが、やはり医師によって対応が違っていて、誰でも打つという医師もあれば、まだ最初怖いので自分が診ている患者しか診れないというところがあって、本当は誰でもウエルカムで打っていただくと助かるのですが、まだ最初からそこまではいけないという医師が多いので、今そのような形のバラバラの対応になっているということでご理解いただければと思います。

●大竹紗代子健康福祉部長 個別接種も進みまして、先生たちも状況がだんだん把握できてきますと接種できる回数とか人数も増やしていただけるのではないかと期待しているのですが、いろいろ調整をさせていただきましたが、やはりアナフィラキシーショックですとかいろいろなことが言われていますので、先生たちもすごく慎重にやられてらっしゃることなので、統一できてなくて申し訳ないですが、ご理解いただきたいと思います。

○橋本勝弘委員 試行錯誤が続くと思いますが、いわゆる不都合なところはしっかり直しながら次の年代の方についていただきたい。京都に住んでいる娘さんから、ひとり親の介護が必要な方が予約ができないと、そのかかりつけ医が受付に来てくれないと受付できないと言われたということで、ひとりの介護の方、そういった方にはもう少し丁寧な対応をすれば市に対する評価がぐっと上がると思いますから、今後そういった年代を問わず、ひとりで行けない方については配慮いただければと思います。

○山田浩司委員 かかりつけ医の日付が4月28日現在で出ていたと思うのですが、今後の更新の予定というのはあるのでしょうか。それともそのまま4月28日の状況でいくのでしょうか。

●道田佳浩健康福祉部参与兼健康医療課長 4月28日現在、37の医院が協力いただけるということだったのですが、今現在、1つ減ってしまいまして、それはなぜかという先ほどアナフィラキシーではなかったのですが、それに似た症状で救急搬送されたので、今後同じように進めていいのかご心配されている医院が1回やめるとおっしゃっていました。ただ今後、インフルエンザと同じように各かかりつけ医には打っていただかないと困るので、どんどん増やしていきたいと行政のほうでは考えています。

○高橋篤仁委員 市民のほうから見るとそういう風に映るのですが、今おっしゃったようにお医者さん側からの視線でいくと、本当にやってくださっているという観点もあって、今回予約が取れなかったのが、お医者さんのせいだという風な風潮に流れてしまうと、もっと離れていってしまうと思います。私の地元の大貫医院にすぐにガス抜きに行ったんですが、本当に地域貢献のためにやっているんだというようなことで逃げ出さないように頑張ると言っていましたけれど、そういう思いでやってらっしゃるので、やはりちゃんとした報道をしていかなければお医者さんのほうも苦しいと思うので、よろしくお願いします。

○窪野愛子副委員長 タクシーの助成金のことですが、自分のところは自宅にお迎えをお願いするとお迎え賃みたいなのを取られるということなんですが、大須賀の人が掛川タクシーやライフタクシーを呼んだら、お迎え賃がすごいじゃないのと言われちゃったんですが、そのあたりは、よく見たら家から病院までと書いてあるから、そこはカットされるのですか。

●道田佳浩健康福祉部参与兼健康医療課長 当課で確認しているのは、初乗りとお迎えも含めて740円なので、どこに迎えに行ってもそれは一律740円と聞いています。それは遠かろうが近かろうが一緒だとお聞きしています。

○嶺岡慎悟委員長 いろいろ思うところはあろうかと思いますが、21日に報告があるということですので、そのお話も聞きながら、こちらもしかしたら協議会か何か開くかもしれないということで、都合をつけて、お忙しい部署なので無理しないようにとは思っていますが、こちらが一番苦情を受けるのは私たちなのでご理解をいただければと思います。そこはしっかりお聞きしてやっていきたいと思います。今日は重要な話だと思いますので、会派の皆様や周りの方々にもお話しいただければと思いますので、よろしくお願いします。

以上で文教厚生委員会を終了いたします。お疲れ様でございました。

6) 閉会 午後2時24分